

RO濃縮水処理設備の設置について

平成26年10月30日

東京電力株式会社

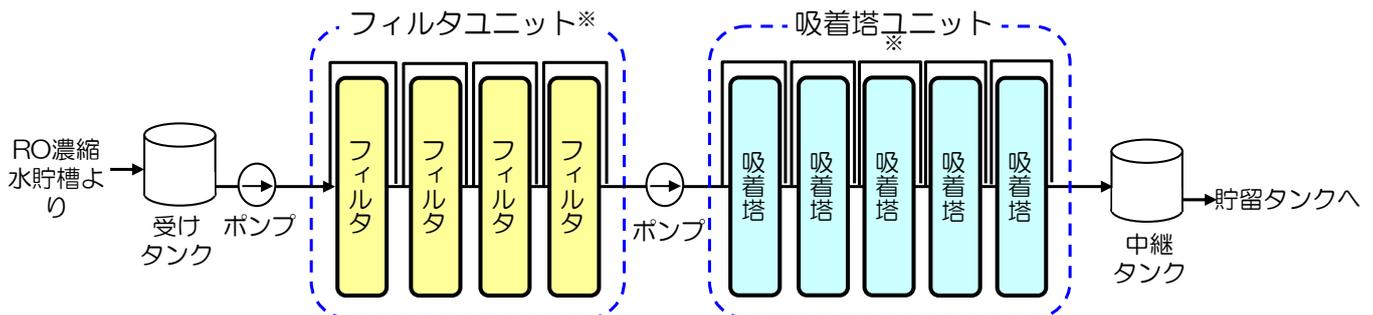


東京電力

1. RO濃縮水処理設備の概要

- 当社は、敷地境界線量1mSv/年の達成及び汚染水貯留リスクの低減のため、平成26年度内にタンクに貯留している汚染水の浄化を進めている。
- RO濃縮水の浄化は、多核種除去設備（既設・増設・高性能）の他に、モバイル型ストロンチウム除去装置等多重的に進めており、その一つとしてRO濃縮水処理設備を設置する。
- RO濃縮水処理設備は、RO濃縮水に含まれる主要な放射性物質であるストロンチウムを除去。

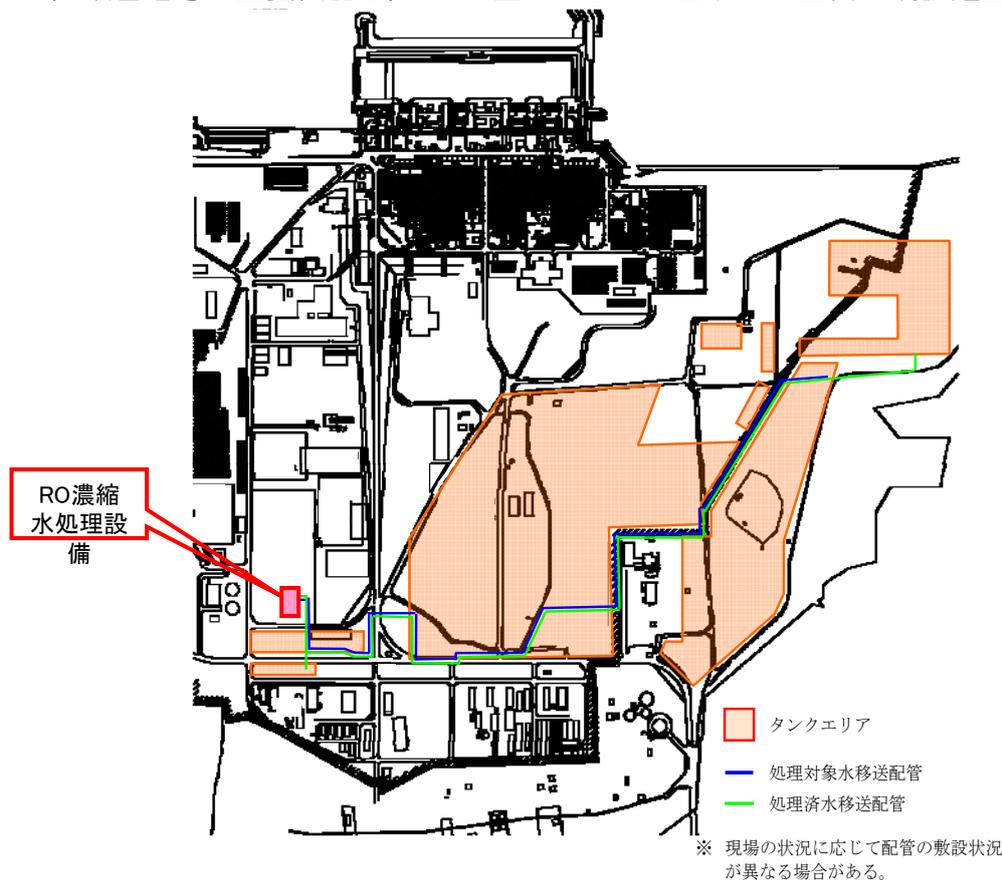
《RO濃縮水処理設備の系統構成》



※処理対象水の放射能濃度等に応じてフィルタ，吸着塔のバイパス運転を実施

2. RO濃縮水処理設備の設置予定地

- フィルタ、吸着塔等の主要機器は、35m盤旧グラウンドエリアの西側の既設建屋内に設置。



3. 主要仕様

項目	内容	
処理量	500 ~ 900 m ³ /日	
除染係数※	ストロンチウムに対して100~1000（設計目標）	
耐震クラス	Bクラス （多核種除去設備等と同等の耐震性を確保）	
廃棄物の保管	廃フィルタ	コンクリート製容器または金属製容器に入れ、一次保管エリア等で保管
	廃吸着材	吸着塔（金属製容器）のまま、使用済セシウム吸着塔一時保管施設で保管

※ 汚染の原因となっている放射性物質が除染処理によって除去される程度を示す指標

4. スケジュール

年度		H26					
月		10	11	12	1	2	3
RO濃縮水処理設備	許認可 (実施計画等)	申請 ▼ 実施計画	使用前検査				
	機器製造・設置工事 浄化運転	機器製造・設置工事		浄化運転			

- 12月上旬に浄化運転を開始予定